

# あすなろ

連絡先：電機労働者懇談会気付 沖電気の職場を明るくする会  
東京都品川区二葉2-20-8 染野ビル2F 電話 03 (6421) 5323

ホームページ

沖電気の職場を明るくする会

検索

クリック

皇帝ダリア



花言葉：乙女の真心

「会」は沖電気とその関連などで働く人々が「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られました。正規・非正規を問わず誰でも入会できます。略称はOAK。

《設立1986年》

労働相談は無料です。ホームページの「相談窓口」で常時受け付けています。「沖電気の職場を明るくする会」で検索してください。

## 残業時間が多く、年休取得が少なく、国際公約1800時間には遠い



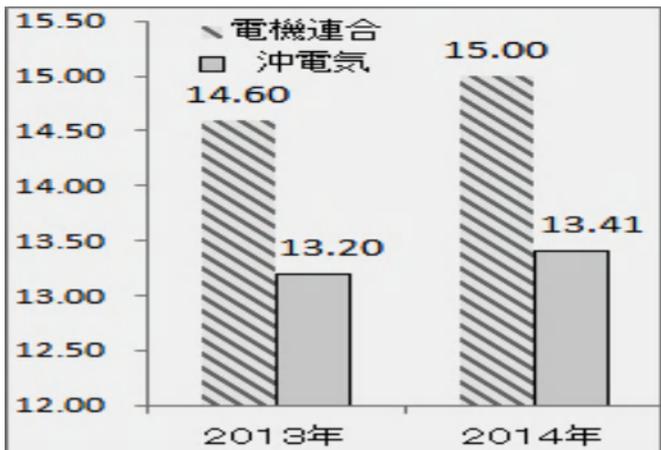
## 「働き方改革」で過労死はなくなるでしょうか？

23%が月・残業時間40時間超

残業時間分布	人数	割合
なし	152	7.1%
20時間未満	572	26.6%
20～40時間未満	943	43.8%
40～60時間未満	400	18.6%
60～80時間未満	63	2.9%
80時間以上	22	1.0%
人数合計	2152	

2015年10月沖労組アンケート

年・有給休暇取得日数



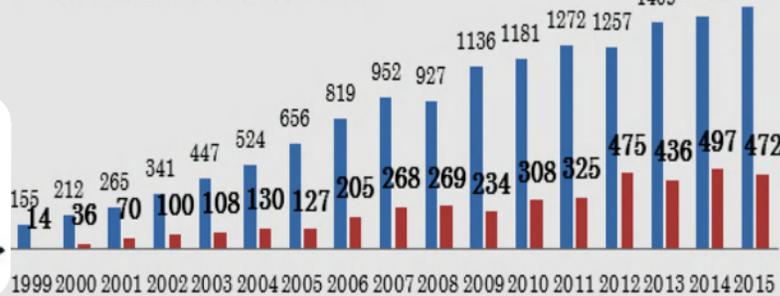
年間総労働時間比較

海外の数字は2013年版労働政策・研究機構データ。日本平均は「毎月勤労統計」。電機連合は「14年分連合資料」。沖は「14年分・平均残業時間29.3時間でOAK試算。」



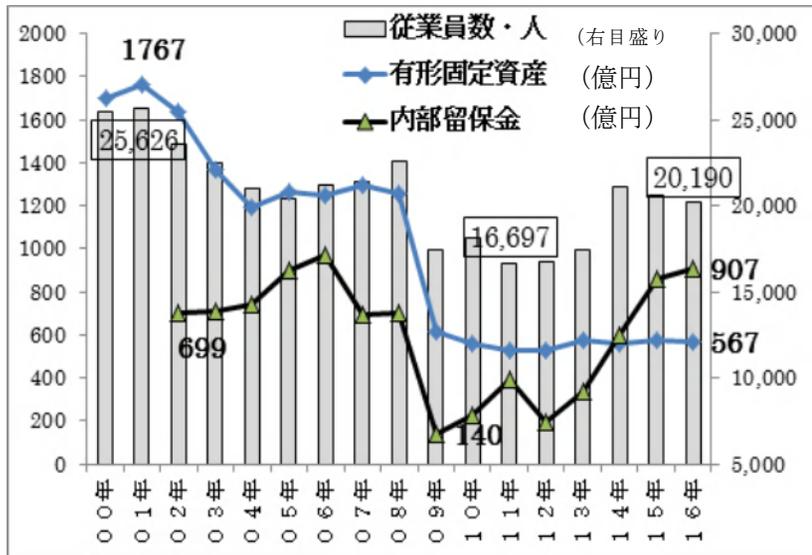
## 11月は過労死防止啓発月間です

精神疾患の労災認定の推移

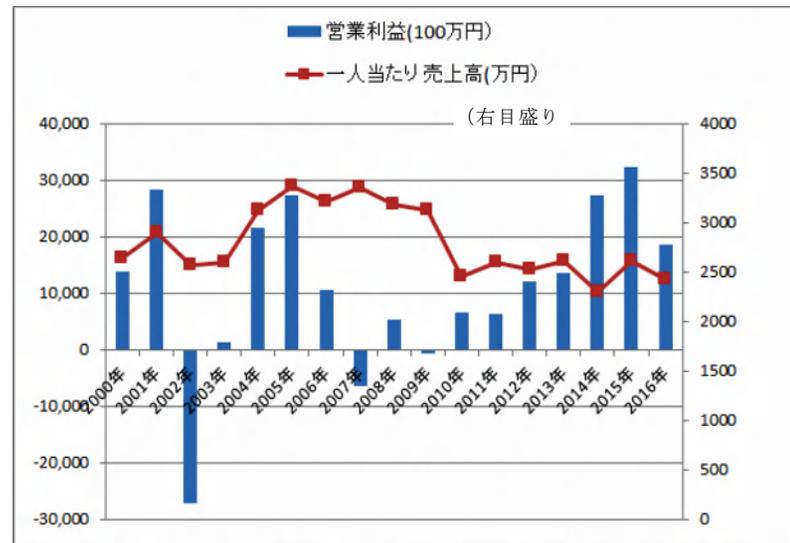


TVで地震速報のテロップが流れ、「最近地震が多くな...」妻が言った。4月14日に熊本地震、10月21日には鳥取地震、10月8日には38年ぶりに阿蘇山が爆発的噴火を起した。鳥取県はフィリピン海プレート沈み込み圧力の影響を受けやすい場所と言われている。この鳥取地震で「南海トラフ地震の前触れでは」と騒がれ、1943年に鳥取地震が発生した1年後に南海地震が発生したことも心配される要因になっている▼「南海トラフ」とは、駿河湾を基点として御前崎沖から四国沖・九州東方沖につながる4千メートル級の溝の名称で、この溝に沿ってM8クラスの巨大地震が数百年から2百年ごとに発生し、北から東海地震、南海地震、南海地震と呼ばれている。政府もこの三つが連動した場合は2011年の東北地方太平洋沖地震を超える「南海トラフ巨大地震」を想定して対策を進めている。1900年代に東南海・南海地震が発生しているが、東海地震がエネルギーが溜まっているのではないかと考えられている▼いつくるかが問題となっている巨大地震。4つのプレートが交差する日本は世界でも有数の地震多発国。改めて原発再稼働の危険性を感じずにはいられない。福島第一原発事故の被害の大きさ、深刻さを忘れてはならない。

《 沖電気を考える 》 第102回 リストラ  
**人財・資産を減らし内部留保回復**



■00年からグループ全体（連結）で5千500人の正社員を減らし、有形固定資産（建物・工具・土地などの資産）は売却（リストラにも充当）などで1千億超減りました。内部留保金（資本・利益剰余金など）の蓄えは、09年と比べて約800億円増加。



総人件費抑制

売り上げは伸びなくても

利益を上げる

7月に行われた参議院選挙で安倍首相は憲法は争点ではないと言つて一言も触れなかった。しかし、選挙の結果、自公と改憲勢力が3分の2を超える。9月の臨時国会の所信報告のなかで自民党の憲法草案を下敷きにして憲法審議会で憲法改定を審議すると言出した。

現行憲法は第二次世界大戦で日本の侵略により2000万人もの尊い命が奪われた悲惨な体験をふまえて、戦後二度と戦争をしないことを世界の人々に誓い制定された戦後七〇年余、世界でもまれな戦争をしない国になりました。

安倍内閣が憲法審議会です敷きにする自民党の憲法草案はこの現行憲法の原則を一八〇度変えようとするものです。一、国民主権の縮小  
 一、戦争放棄の放棄  
 一、基本的人権の制限

この憲法の原則は  
 一、国民主権（主権は国民にある）  
 一、平和主義（戦争放棄）  
 一、基本的人権の尊重  
 の三点であり、国民が自由で幸せに生きるための政府への「命令書」であり、国家が暴走しないよう権力を縛るものです。（立憲主義）

**憲法が危ない！**  
**自民党憲法草案から見えるもの**

N01

権力を縛るものから国民が守るもの（立憲主義の否定）への変更



自民党憲法草案は現行憲法を変える理由として、  
 ○現行憲法は日本が敗戦国の時のもの  
 ○今の憲法では、内外の変化に対応できない  
 ○今の憲法は日本らしさが少ない  
 ○時代に合った修理が必要として憲法を変えようとして提しています。

次回から憲法の各条文を比較してみたいと思います。

生かされているのか

5年前の震災の教訓

【埼玉・本庄】

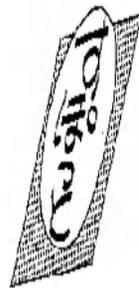
避難訓練が10月27日に実施された。地元消防署の挨拶では、最近、頻繁に起きている地震について触れられ、災害時の注意が促された。5年前の宮城沖地震のことが思い起こされた。当時のあすなる2011年4月号

スポーツ記事を掲載し、地震時の避難対策の教訓を生かすことにつなげてもらいたい。  
 『2011年3月11日午後2時26分、いつもと違う揺れに、緊張感が走る。身を隠す場所を探して、視線が職場を走る。身を守るところはない。その場に立ったまま様子をみるしかなかった。外に逃げよう』

「逃げよう」の声に周りの人が駆け出し、奥のほうからも数人が走って逃げてくる。「崩れるかと思った」「まだ足が震えている」口々に恐怖を語る。天井からは金属の落下物もあった。幸いけが人は出なかったようだが、下に作業員がいたらと思うとぞっとする……」

などの下に身を隠すなど安全を確保する」の初期避難は不可能です。

工場全体の職場環境の再点検と改善が必要です。



絶対許されない虐待

【埼玉・蔵地区】

過労状態でパワハラの追い打ちをかけられ新人社員が自死に追い込まれた電通の事件の怒りもおさまらない中、さらに許せないニュースが飛び込んできました。  
 私が中学生だった約33年前に暴力的指導で死者も出て大問題となった戸塚ヨットスクールのコースを作ったとのことでした。その指導内容はひどい暴言を投げながら4歳の幼児にビンタをしたり、海に放り投げたりするなど非人道的で絶対に許せないと強く思いました。

以前の事件で服役した校長は体罰指導を正当化しています。幼児虐待などは絶対に許されるものではありません。それに対し議員が動き始めたところであり、相応の賠償および営業停止それに刑事処分が下されることを心

より願っています。

富岡どんとまつりに

職場から約百人参加

【群馬・富岡】

富岡「どんとまつり」が、10月15日～16日に開催されました。二年に1回開かれます。山車21台と踊り手約千五百人熱気ある祭りになりました。富岡工場からは、各職場から約百人が踊り手として参加しました。16日付けの上毛新聞にも沖電気の隊列の写真が掲載されるなど祭りを盛り上げる大きな力となったと思います。ご苦勞様でした。

休日祭りの参加は、会社の宣伝効果があり仕事の延長のような側面もあり、参加者からは「参加の手当か、記念品ぐらい出してもいいのでは……」という声も聞かれました。次回二年後の祭りでは、ぜひ検討してほしいものです。



OAKホームページ  
 QRコード

